

第6講座 古文

敬語

(1) 次の——線部の敬語の種類をあとから選び、記号で答えなさい。

- ① お客様のお名前を伺つてもよろしいでしょうか。
- ② これは姉のものでございます。
- ③ お手紙を拝見しました。
- ④ 友人の家でケーキをいただきました。
- ⑤ これはあの方がくださったものだ。

ア 尊敬語 イ 謙讓語 ウ 丁寧語

①
②
③
④
⑤

(2) 次の——線部を正しい敬語表現に書き直しなさい。

- ① 先生が申し上げたことを、よく聞こう。
- ② それは私がなさいます。
- ③ 母は、お出かけになっています。
- ④ 父が、今すぐいらつしやいます。
- ⑤ 校長先生のお話を聞く。
- ⑥ お電話をくださったのはだれですか。

⑤	③	①
⑥	④	②

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

*1 腑のぬけたる仁に海老をふるまひけるが、赤きを見て、「これは、生れつきか、また朱にてぬりたる物か」と問ふ。*2 「生得は色が青けれど、釜にて煎りて赤うなる」といふを合点しあけり。ある侍の馬にのりたる先へ、二間まなか柄の朱鍮二十本ばかり持ちたる中間どものはしるを見、手を打つて、「さても世はひろし。奇特なる事や」と感ずる。「なにをそなたは感ずるや」と問ひたれば、「その事よ。いまの鍮の柄の色は、火をたいて剥いたものぢやが、あれ程ながい鍋がようあつた事や」と。

(安楽庵策伝『醒睡笑』)

- *1 腑のぬけたる仁ニまのぬけた人。
- *2 ふるまひけるがニごちそうしたが。
- *3 生得はニもともとは。 *4 煎りてニ煮詰めて。
- *5 二間まなか柄の朱鍮ニ約四メートルの赤い柄の鍮。
- *6 中間どもニ家来たち。
- *7 奇特なる事ニめつたにない珍しいこと。

問一 —— 線①「生得は……赤うなる」のは何ですか。文中から書き抜きなさい。

問二 —— 線②「手を打つて」の主語として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア まのぬけた人
- イ 海老をごちそうした人
- ウ 馬に乗った侍
- エ 家来たち

問三 この文章のおもしろさは、どんなところにありますか。最も適当

なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア まのぬけた人が海老が赤くなる理由についてうそを教えられた
が、それに全く気づいていないところ。

イ まのぬけた人が、朱鍮が海老と同じようにして赤くされている
と思ひ込み、鍋の長さを感じしているところ。

ウ 家来たちがふつうよりもだいたい長い鍮を持たされて馬に乗って
走っているところ。

エ 鍮を煮ることができるとの大きな鍋が実際にあったというこ
ころ。

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

穂積氏の老母昌貞尼は、洛の高台寺に隠居す。風流、世にすぐれたり。騷客、門に充てり。庭前十畝ばかりを柴として刈ることなし。世人これを取り残しの柴と呼べり。蝶の来るを待つなり。

また、庭園に鶯日ごとに来り鳴くをよろこび、梅なくてあるべからずとて、洛東にもとむれども心になかなひたる古木なければ、人を雇ひて探りもとむるに、嵯峨に老木の大きいありと聞きて、多く金を費やして庭園に植ゑたりけるに、梅を植ゑたる日よりして、かの鶯いづくへか行きけん、終に来らずなりぬ。

(柳沢淇園『雲萍雜志』)

*1 洛 II 京の都。

*2 騷客 II 風流な人たち。

*3 畝 II 広さの単位。

*4 嵯峨 II 今の京都市西部の地名。

*5 多く金を費やして II 代金をたくさん払って。

問一 線①「風流、世にすぐれたり」、③「梅なくてあるべからずと

て」の現代語訳として最も適当なものを次のうちから選び、それぞ
れ記号で答えなさい。

① ア 風流な人が、たくさんいる世の中だった。

イ 風流な世に、豊かに暮らしていた。

ウ 風流なことが、世に抜きん出た。

エ 風流な、優れた人と暮らしていた。

③ ア 梅が見あたらないが実はどこかにあるはずだと思って。

イ 鶯には梅がなくてはならないと思って。

ウ 梅がなくては鶯がやってこないだろうと思って。

エ 梅がないことを気づかれてはいけなと思って。

問二 線②「庭前十畝ばかりを柴として刈ることなし」とあります

が、柴を刈り残したのは何のためですか。現代語で書きなさい。

問三 線④「聞きて」の主語として最も適当なものを次のうちから

選び、記号で答えなさい。

ア 昌貞尼 イ 高台寺に集まった騷客

ウ 世間の人々 エ 雇われた人

問四 この文章の内容と合うものを次のうちから一つ選び、記号で答え

なさい。

ア 昌貞尼はなんとか庭に鶯を呼びよせたいものだと思った。

イ 昌貞尼はよい梅の木を求めて足を棒にして歩いた。

ウ 嵯峨で、若々しい、枝ぶりの見事な梅の木が見つかった。

エ せっかく庭に梅を植ゑたのに、鶯はもう現れなくな
った。

練習問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

*1つくし 筑紫に、なにがしの押領使などいふやうなるものありけるが、土大根をよろづにいみじき薬とて、朝ごとに二つづつ焼きて食ひける事、年久しくなりぬ。ある時、館の内に人もなかりける隙をはかりて、敵襲ひ来りて囲み攻めけるに、館のうちに兵二人出でて来て、命を惜しまず戦ひて、皆追ひかへしてけり。いと不思議に覚えて、「日比ここにももし給ふとも見ぬ人々の、かく戦ひし給ふは、いかなる人ぞ」と問ひければ、「年来頼みて、朝な朝な召しつる土大根らにさぶらふ」といひて失せにけり。深く信をいたしぬれば、かかる徳もありけるにこそ。

(兼好法師 『徒然草』)

*1 筑紫 〓 今の九州北部の呼び方。

*2 押領使 〓 平安時代に治安の維持を仕事としていた役人。

*3 土大根 〓 大根。

*4 隙をはかりて 〓 すきをぬって。

*5 日比ここにももし給ふとも見ぬ人々 〓 ふだんここにいらつしやるとは思われない人々。

問一 線①「いふやう」を現代かなづかいに直して書きなさい。

[]

問二 線②「よろづにいみじき薬」の意味として最も適当なものを

- 次のうちから選び、記号で答えなさい。
- ア だれもがよく知っている薬。
- イ どこでも簡単に手に入る薬。

ウ どんなものよりおいしい薬。

エ どんなことにもよくきく薬。

問三 線③「年久しくなりぬ」の現代語訳として最も適当なものを

次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 長い年月にならない。

イ 長い年月になった。

ウ 長い年月になるだろう。

エ 長い年月になるだろうか。

問四 線④「かく戦ひし給ふ」とありますが、どのように戦ったのですか。最も適当な部分を文中から十字以内で書き抜きなさい。

問五 線⑤「問ひければ」、⑥「いひて」の動作主として最も適当なものを次のうちから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア 押領使 イ 敵

ウ 兵二人 エ 皆

⑤ []

⑥ []

問六 線⑦「深く信をいたしぬれば、かかる徳もありけるにこそ」とは、どういうことですか。最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 信じる心をもっていたので、災難から救われることができた。

イ 食べ物大切にしていれば、いざというときに力を出せる。

ウ ほどこしてもらった恩は、決して忘れてはならない。

エ 注意をしてさえいれば、災難から逃れられることもある。

2

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

中ごろなまめきたる女房ありけり。世の中たえだえしかりけるが、みめかたちあいきやうづきたりける娘をなん持たりける。十七八ばかりなりければ、これを、いかにもしてめやすきさまならせむと思ひける。かなしさのあまりに、八幡へ娘ともに、泣く泣く参りて、夜もすがら御前にて、「わが身は今はいかにても候ひなん。この娘を心やすきさまに見せさせたまへ。」と、数珠をすりて打ち泣き打ち泣き申しけるに、この娘参り着くより、母のひざを枕にして、起きもあがらず寝たりければ、暁がたになりて母申すやう、「いかばかり思ひたちて、かなはぬ心に徒歩より参りつるに、かやうに夜もすがら、神もあはれと思しめすばかり申したまふべきに、思ふことなげに寝たまへる、うたてさよ。」と、くどきければ、娘驚きて、「かなはぬ心ちに苦しくて。」といひて、

身の憂さをなかなかなにと石清水思ふ心はくみて知るらむ
 とよみたりければ、母も恥づかしくなりて、ものもいはずして下向する
 ほどに、七條朱雀のへんにて世の中にときめきたまふ雲客かつらより遊
 びて帰りたまふが、この娘を取りて車に乗せて、やがて北の方にして、
 始終いみじかりけり。大菩薩この歌を納受ありけるにや。

(橘成季『古今著聞集』)

- *1 なまめきたる 〓 若々しく美しい。
- *2 かなしさ 〓 かわいさ。
- *3 八幡 〓 石清水八幡宮のこと。
- *4 うたてさ 〓 情けなさ。
- *5 くどきければ 〓 くどくどくと言ったので。
- *6 驚きて 〓 目を覚まして。 *7 下向する 〓 帰る。
- *8 ときめきたまふ雲客 〓 栄えていらっしやる殿上人。
- *9 北の方 〓 夫人。

問一 線①「起きもあがらず寝たりければ」とありますが、娘が寝ていたのはなぜですか。その理由として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 母がくどくどとうるさくて腹が立ったから。
 - イ 八幡様の御利益を信じていないから。
 - ウ 長い道のりを歩いて来たので疲れたから。
 - エ 思い通りにならない気がして苦しかったから。
- 問二 線②「やがて」の意味として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 思いがけず。 イ そのまま。
- ウ いつものまにか。 エ とりあえず。

問三 線③「ありけるにや」の意味として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア あつたのだろうか。 イ あつてはならないことだ。
- ウ あるだろう。 エ あればよいのに。

問四 この女房が娘を連れて石清水八幡宮へ行ったのは何のためですか。簡潔に説明しなさい。

問五 文中の短歌「身の憂さを……知るらむ」には掛詞(一つの言葉で

二つ以上の意味を表す技巧)が使われています。その部分を三字で書き抜きなさい。

